

## 第 11 回

開催日時	平成 22 年 1 月 29 日（金） 午後 6 時 33 分～8 時 33 分	
開催場所	野方小学校 図書室	
出席者	委員	佐藤 泰義、石川 誠一、石田 修、島田恵美子、福田 敬子、 本間みどり、亀井 京子、荻野 勉、猿田えり子、岡安 進、 手塚由利子、花岡 光明、佐藤 民男、内野 秀夫、千葉 千恵、 吉村 恒治 (敬称略、順不同)
	その他	教育長
	事務局	学校再編担当
傍聴者	0 人	
会議次第	<b>【開会】</b> 1 中野区教育委員会の人事異動について 2 統合委員会委員が推薦母体の会員でなくなった場合等における委 嘱の取り扱いについて <b>【議事】</b> 1 統合新校の校名について 2 統合新校の校章・校歌の検討について 3 その他	

## 第 11 回 野方小学校・沼袋小学校統合委員会 会議要旨

## 委員長

定刻を過ぎたので、これより第11回統合委員会を開会する。

本日傍聴を希望される方はいないとのことである。

## 1 開 会

## (1) 中野区教育委員会の人事異動について

## 委員長

本日は、議事に入る前に報告事項などがある。

まずは、「中野区教育委員会の人事異動について」であるが、昨年12月15日付で新たに田辺裕子教育長が就任された。本日は、教育長がこの会場に来ているので、委員のみなさんに挨拶を

お願いしたいと思う。

—— 教育長挨拶 ——

### 委員長

なお、教育長は、この後も予定があるとのことなので、これにて退席される。

—— 教育長退席 ——

## (2) 統合委員会委員が推薦母体の会員でなくなった場合等における委嘱の取り扱いについて

### 委員長

次に、「統合委員会委員が推薦母体の会員でなくなった場合等における委嘱の取り扱いについて」に移る。事務局より説明してもらう。

■資料「統合委員会委員が推薦母体の会員でなくなった場合等における委嘱の取り扱いについて」に沿い、事務局より説明

(概要)

#### 1. 委嘱に関する基本的な考え方

統合委員会委員は、その選出区分にかかわらず、個人に委嘱しているものである。このため、委員が推薦母体の会員でなくなった場合等においても、委員本人からの辞職の申し出がない限り、任期まで統合委員会委員として委嘱していることになる。

#### 2. 選出区分ごとの対応

##### (1) 町会・自治会から推薦された委員が会員でなくなった場合

現在の委員の去就にかかわらず、当該地区町会連合会に対して新たな委員の推薦を依頼する。

##### (2) P T Aから推薦された委員が会員でなくなった場合

現在の委員の去就にかかわらず、当該P T Aに対して新たな委員の推薦を依頼する。

##### (3) 校長、副校長、教育委員会事務局副参事（学校再編担当）が異動した場合等

個人に委嘱しているが、その任にある者を充てているため、現在の委員より辞職願を受け、新たに校長、副校長、教育委員会事務局副参事（学校再編担当）に就任した者に委嘱することとする。

##### (4) 校長から推薦された委員が辞職した場合

当該校長に対して新たな委員の推薦を依頼する。

### 委員長

事務局より説明があったが、質問などがあればお願いしたい。

—— 特になし ——

## 2 議 事

### (1) 統合新校の校名について

### 委員長

それでは、議事に入る。

まずは、「統合新校の校名について」である。事務局より説明してもらう。

■資料「各委員から出された校名候補」に沿い、事務局より説明

(概要)

- ・ 統合新校の校名については、昨年5月より4回にわたって協議を行い、前回の協議で「彩花」「すすしろ」「中野中央」「平和の森」の4つが候補に残された。

- ・ 配布資料は、4つの候補について、前回の協議で各委員から出された主な意見などをまとめたものである。

学校名	よみがな	前回の協議で各委員から出された主な意見
彩花	さいか	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 教育的な見地から「彩花」を選んだ</li> </ul>
すすしろ	すすしろ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 両校の共通点であり、地域の歴史も感じられるという事で選んだ</li> <li>・ 漢字ではないためにインパクトがないという感じもする</li> <li>・ 「すすしろ」もよいと思うのだが、両校の校章に使われているので、統合新校の校章で残してはどうか</li> <li>・ 「すすしろ小学校」となれば、子どもたちは恐らく「へえ、なんで」となって説明をする楽しみがあるかもしれない</li> <li>・ 歴史的な見地から「すすしろ」を選んだ</li> </ul>
中野中央	なかのちゅうおう	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 統合新校が中野区の真ん中に位置するので「中野中央」を選んだ。中央中学校という校名も統合によりなくなってしまうので、「中央」の名前を残せればと思った</li> <li>・ 行政的な見地から「中野中央」を選んだ</li> </ul>
平和の森	へいわのもり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 今の子どもたちにとって一番印象にあるのは「平和の森」だと思うので、校名としてふさわしいと思う</li> <li>・ 統合新校を象徴するのは「平和の森」ではないかと思う。平和に関する事は教育の中でも触れると思うので、学校名に「平和」が入っていると子どもたちにもわかりやすいのではないか</li> <li>・ 「平和」という言葉は決して悪いイメージではないので、校名としてもふさわしいと思っている</li> <li>・ 平和の森公園の名前は地域に定着していて、地域の方のほか多くの区民が訪れ、我々も誇りを持っている公園なので、校名として「平和の森」がよいと思う</li> <li>・ 「平和の森」が悪いということではないが、「平和」という言葉は捉え方によってイデオロギーが入ってしまうことを少し危惧している</li> <li>・ イデオロギーについては、学校で特定の考え方を教え込むことは問題であるが、いろいろな勉強をしていく中で、子どもたちが自分の考え方をもっていくものだと思う。校名に「平和」を使うことは、そんなに心配しなくてもよいと思う</li> <li>・ 「平和の森」を英語に訳すと「Peaceful Forest」となるのでよいのではないか。国際的な時代になったとしても、「平和」の言葉が入っていることで理解されやすい名前になると感じた</li> <li>・ 統合新校のキーワードが「コミュニケーション」という話が出たが、「森」には、子どもたちが会話をしたり、遊んだり、いろいろな地域の人と活動したりするイメージもあるように感じている。何年か先には公園の横に新しい校舎が建ち、「平和を愛するみんなの願いがここにある」というような話ができればと思い、「平和の森」を選んだ</li> <li>・ 「平和の森小学校」となれば、子どもたちは恐らく「そうなると思ったよ」と言うと思う</li> </ul>

**委員長**

事務局より説明があったが、意見などがあればお願いしたい。

**委員**

統合新校の位置が平和の森公園に近いので、「平和の森」でよいのではないかとと思う。

**委員**

私も、同じく「平和の森」がよいと思った。

「すすしろ」は、大根のことであるが、現在あまり使われていない言葉なので、理解する人が少ないのではないかと。個人的には、“大根役者”などの言葉からよいイメージをもっていない。また、大根といえば練馬や三浦などが有名であるが、この周辺はそんなに有名ではない。

**委員**

私も、「平和の森」がよいと思う。地域の方にとっても、馴染みのある名前ではないか。

**委員**

私は、「すすしろ」か「平和の森」がよいと思っていたが、いろいろな人の意見を聞いて迷っている。

「すすしろ」は、響きがよく、両校の校章に使われていることから歴史を残すことができると思ったが、先程の意見を聞いて、練馬の学校と間違われるのではないかと気がしてきた。

保護者の間では、堅いイメージから「中野中央」がよいという意見が多く、子どもたちからは、「平和の森」がよいという意見が多かった。

**委員**

私も、「すすしろ」か「平和の森」がよいと考えていた。

「すすしろ」という言葉であるが、私自身は、あまり悪いイメージはなく、古い日本語でよいと思っている。中学生の娘に聞いたところ、むしろ新鮮に聞こえると話していた。

前回の統合委員会で、統合新校の特色として“コミュニケーション”という話が出ていたが、その特色が平和に通じるような意味合いがあることと、子どもたちに平和の森公園が馴染み深いということから、今は「平和の森」がよいと思っている。

**委員**

私も、前回まで「すすしろ」か「平和の森」がよいと思っていた。「すすしろ」もあまり深い意味まで考えたことはなかったが、先程の意見を聞くとなるほどと思う。諸々を考えると、地域に密着している「平和の森」のほうがよいと思っている。

**委員**

平和の森公園は、この地域に根づいている感じである。名前を言えばすぐにあの周辺にあると分かるので、校名は「平和の森」がよいと思う。

**委員**

教育の中でも平和に関することは大切なことだと思うので、校名に“平和”の言葉が入っているとやり易いような気がする。

**委員**

私は、中学生と高校生の自分の子どもに意見を聞いてみたが、通っていた沼袋小学校の“すすしろルーム”が懐かしいということもあり、「すすしろ」がよいと話していた。「平和の森」を指示する意見が多いが、あえて私は「すすしろ」という意見を述べておきたいと思う。

ただ、「平和の森」もよいイメージではある。

## 委員

野方小学校の「野方」という名前は、歴史と伝統があり、地域からも慕われてきたものなので、統合新校の校名は、それにかわるような名前を選ばなければならないと思っている。説明をしなければわからない名前や、決めた者だけが分かっているという名前よりも、多くの方に“恐らくそうなると思ったよ”“多分そうだろう”と思ってもらえるような名前のほうが無難ではないかと思う。

## 委員

私は、地域性や歴史的な視点から「すすしろ」か「平和の森」がよいと思っている。

「すすしろ」については、先程いくつかの意見があったが、私は美しい古語だと捉えている。

「平和の森」に関しては、公園の命名にも通ずるが、その名前に区民の願いが込められており、これから未来に向かって歩いていくという印象もある。

2つのうちのどちらかを選ぶとすれば、野方小学校と沼袋小学校の中間に平和の森公園があることや、未来に向かって歴史を歩みだすという観点から、「平和の森」のほうがふさわしいと感じている。

## 委員

いろいろ迷うところではあるが、統合新校のキーワードである“コミュニケーション”というイメージを考えると「平和の森」がよいと思う。また、平和の森公園は、子どもたちがよく遊び、馴染んでいるところでもある。

「すすしろ」は、“この周辺は昔こんなところで…”などと説明をしなければ、理解をされるのが難しいような気がしている。

## 委員

私も、校名としては「平和の森」がよいと思う。沼袋小学校から旧第六中学校へ進学して卒業したという方は多数いると思うが、自分が通っていた小学校の名前も中学校の名前もなくなってしまふことはつらいことである。「平和の森」であれば、自分が遊んでいた公園の名前が校名となって、この先も残ることになる。

「すすしろ」は、野方小学校と沼袋小学校の校章に共通して使われているものなので、統合新校の校章などで残してもらえればと思う。

## 委員

私は、「中野中央」がよいと思っていたが、それ以上の意見はない。この場で決まったものでよいと思う。

## 委員長

各委員から出された意見を聞いていると、なるほどと思う。特に投票などを行うつもりはないので、これまで出された意見をもう一度思い起こして考えてもらいたい。

平和の森公園の名前が決まったときも、始めは変な名前だと思ったが、呼んでいるうちに慣れてきて、今ではシンボリックな名前となっている。統合新校の校名も、そのような感覚になるのではないかという気がしている。

## 委員

平和の森公園の名前は、公募でつけたのか。

## 事務局

公募である。昭和59年に区民の方から公園の名前を募集し、区と区議会が共同で検討会を開いて「平和の森」という名前を選定した。

## 委員長

ほかに意見があればお願いしたい。

なければ、これまで出された意見を踏まえ、統合新校の校名候補を「平和の森小学校」とすることで、統合委員会としての意見を取りまとめたと思うがよろしいか。

—— 異議なし ——

## 委員長

それでは、そのように決定する。

なお、本日取りまとめた意見は、後日教育委員会へ報告することになる。教育委員会への報告は、文書の確認を含め、統合委員会を代表して私と副委員長で行いたいと思うがよろしいか。

—— 異議なし ——

## 事務局

統合新校の校名候補として「平和の森小学校」を選定していただいたが、今後の流れとしては、委員長と副委員長に教育委員会へ報告していただいた後、教育委員会での協議、議決が行われる。その後、中野区立学校設置条例の一部改正案が区議会に提出され、区議会での議決を得て正式に校名が決定することになる。それまでは、仮称であるということをご承知願いたい。

### (2) 統合新校の校章・校歌の検討について

## 委員長

それでは、次に「統合新校の校章・校歌の検討について」に移る。事務局より説明してもらう。

■資料「校章の選定方法等について」に沿い、事務局より説明

(概要)

#### 1. デザインの募集について

(1) 募集する場合、次のような事項の検討が必要となる

- ・ 募集範囲（校名募集と同様、両校の児童・保護者・教職員、その他）
  - ・ 募集期間
  - ・ 条件等（〇〇〇を基調とする、「校名〇〇」の文字を入れる、1人1点のみの応募とするなど）
- (2) 募集しない場合、どのようにしてデザインを考えていくかの検討が必要となる
- ・ 統合委員会で基本的な事項を決め、専門家に依頼する \*数点を提案してもらうなど
  - ・ すべて専門家に依頼する \*数点を提案してもらうなど
  - ・ その他

#### 2. 選定方法について

(1) アンケートを実施する場合、次のような事項の検討が必要となる

- ・ 方法（すべてのデザインを対象に実施、統合委員会で件数を絞り込んで実施など）
  - ・ 範囲（校名募集と同様、両校の児童・保護者、教職員、その他）
- (2) アンケートは実施しない場合

- ・ 統合委員会で選定する

#### 3. 検討スケジュール（案）

- 1月、3月：検討方法の協議
- 4月：デザイン募集を行う場合は募集手続き
- 5月：デザイン案の協議
- 6月：アンケート調査を行う場合は調査手続き
- 7月：校章決定

《参考》

○当区の例

(1) 桃花小学校の例

- ・ 統合する桃園第三小学校・仲町小学校・桃丘小学校の児童・保護者、教職員を対象に校章のデザインを募集。16点の応募があった。
- ・ 応募された16点の中から統合委員会で3点に絞り込み、専門家にデザイン化を依頼。
- ・ デザイン化した3点と、専門家が提案してきた5点、あわせて8点の中から1点を統合委員会にて決定。

(2) 白桜小学校の例

- ・ 統合する中野昭和小学校・東中野小学校の児童・保護者、教職員、地域住民などを対象に校章のデザインを募集。39点の応募があった。
- ・ 応募された39点の中から統合委員会で4点に絞り込み、専門家にデザイン化を依頼。
- ・ デザイン化した4点の中から1点を統合委員会にて決定。

(3) 緑野中学校の例

- ・ 統合する第六中学校・第十一中学校の美術部を中心とした生徒を対象に校章のデザインを募集。42点の応募があった。
- ・ 応募された42点の中から統合委員会で4点に絞り込み、専門家にデザイン化を依頼。
- ・ デザイン化した4点の中から1点を統合委員会にて決定。

(4) 南中野中学校の例

- ・ 統合する第一中学校・中野富士見中学校の生徒・保護者、教職員を対象に校章のデザインを募集。142点の応募があった。
- ・ 応募された142点の中から統合委員会で5点に絞り込み、専門家にデザイン化を依頼。
- ・ デザイン化した5点の中から1点を統合委員会にて決定。

○他区の例

(1) 杉並区立天沼小学校の例

- ・ 統合する杉並第五小学校・若杉小学校の児童・保護者、地域住民などを対象に校章のデザインを募集。105点の応募があった。
- ・ 応募された105点の中から統合協議会での投票により選ばれた18点の候補について、再度児童・保護者、地域住民などにアンケート調査を実施。
- ・ 二度目のアンケートで選ばれた1点を統合協議会にて決定。

(2) 足立区立千寿小学校の例

- ・ 統合する千寿小学校・千寿第二小学校の教員へ校章のデザインを作成依頼。教員がデザインした校章6点について、児童・保護者を対象にアンケート調査を実施。同時にデザイン募集も行った。デザイン募集では55点の応募があった。
- ・ 教員がデザインした6点のうちアンケートで一番得票数が多かった作品と、応募された55点の中から統合地域協議会での投票により選ばれた3点、あわせて4点の候補について、再度児童・保護者にアンケートを実施。
- ・ 二度目のアンケートで選ばれた1点を統合地域協議会にて決定。

(3) 練馬区立光が丘春の風小学校（平成22年4月開校予定。光が丘第三小学校・光が丘第四小学校の統合新校）の例

- ・ 統合準備会だよりにて校章のデザインを募集。応募用紙はホームページにも掲載。270点の応募があった。
- ・ 応募された270点の中から統合準備会での協議により校章の基本となる図案を選定。
- ・ 基本となる図案をもとに統合する両校で調整を行い決定。

(4) 北区立十条富士見中学校の例

- ・ 北区に勤務経験がある教員へ校章のデザインを作成依頼。教員がデザインした校章10点について、統合する十条中学校・富士見中学校の生徒、教職員を対象にアンケート調査を実施。
- ・ アンケート結果を参考に1点を統合推進委員会にて決定。

■資料「校歌の制作について」に沿い、事務局より説明

(概要)

1. 校歌制作の時期について

(1) 統合新校設置前に校歌を制作する場合

- ・ 開校時に校歌があるので、開校式・入学式に校歌斉唱ができる。
- ・ 統合前に新校歌を練習することができ、統合新校への期待感の醸成に役立つと考えられる。

(2) 統合新校設置後に校歌を制定する場合

- ・ 統合新校の児童が参加して校歌を制定することができる。
- ・ 統合新校の教育目標などが明確となっていることから、教育目標などに関連する歌詞を盛り込むことができる。
- ・ 校歌の発表時期が課題となる。

2. 統合新校設置前に校歌を制作する場合、次のような方法が考えられる

(1) 校歌に入れたい歌詞や単語を募集し、その結果を基に統合委員会で協議する。

- ・ 校名と同様に、野方小学校・沼袋小学校の児童・保護者、教職員、関連の保育園・幼稚園の保護者、地域住民などに歌詞や単語を募集する。
- ・ 野方小学校・沼袋小学校の児童・保護者、教職員に歌詞や単語を募集する。

(2) 校歌に入れたい歌詞や単語を、統合委員会の各委員から出していただき協議する。

(3) 両校の音楽・国語担当などの教員に制作を依頼する。

(4) 最初から専門家に依頼する。

※(1)(2)の場合には、校歌に入れたい歌詞や単語を統合委員会で選定し、作詞するか、専門家に作詞を依頼することになる。なお、作曲について別途検討が必要となる。

3. 検討スケジュール(案)

※統合新校設置前に校歌を制作する場合

1月、3月：検討方法の協議

4月：歌詞等の募集を行う場合は募集手続き

5月：歌詞等の協議

依頼先、依頼方法の協議・決定

11月：校歌決定

《参考》

○当区の例

(1) 桃花小学校の例

- ・ 統合する桃園第三小学校・仲町小学校・桃丘小学校の児童・保護者、教職員を対象に校歌に取り入れたい言葉(単語・フレーズ)を募集。22点の応募があった。
- ・ 作詞・作曲とも専門家に依頼。応募されたフレーズ等を参考に作詞家に手渡し。

(2) 白桜小学校の例

- ・ 統合する中野昭和小学校・東中野小学校の児童・保護者、教職員を対象に校歌に取り入れたい言葉(単語・フレーズ)を募集。84点の応募があった。
- ・ 作詞・作曲とも専門家に依頼。応募されたフレーズ等を参考に作詞家に手渡し。

(3) 緑野中学校の例

- ・ 統合する第六中学校・第十一中学校の生徒(統合新校の第1期卒業生)を対象に校歌のイメージと校歌に取り入れたい言葉(単語・フレーズ)を募集。145点の応募があった。
- ・ 作詞・作曲とも専門家に依頼。応募されたフレーズ等を参考に作詞家に手渡し。

(4) 南中野中学校の例

- ・ 統合する第一中学校・中野富士見中学校の生徒・保護者、教職員を対象に校歌に取り入れたい言葉(単語・フレーズ)を募集。506点の応募があった。
- ・ 作詞・作曲とも専門家に依頼。応募されたフレーズ等を参考に作詞家に手渡し。

○他区の例

(1) 杉並区立天沼小学校の例

- ・ 統合する杉並第五小学校・若杉小学校の児童・保護者、地域住民を対象に校歌に入れたい言葉(単語・フレーズ)を募集。76種類の言葉(単語・フレーズ)が応募された。
- ・ 応募された意見をもとに「真っ直ぐに成長する『杉』をイメージし、子どもたちにわかりやすく親しみやすい」というコンセプトを統合協議会にて決定。
- ・ 作詞・作曲ともに専門家に依頼。コンセプトを作詞家に伝える。

(2) 足立区立千寿小学校の例

- ・ 統合する千寿小学校・千寿第二小学校の児童・保護者を対象に校歌の歌詞や歌詞のフレーズを募集。
- ・ 「千住の街」と統合新校「千寿小学校の児童」をイメージし、校歌選定委員会にて選定。
- ・ 作曲は作曲家に依頼。

(3) 練馬区立光が丘春の風小学校（平成22年4月開校予定。光が丘第三小学校・光が丘第四小学校の統合新校）の例

- ・ 統合準備会だよりにて校歌に入れたい言葉・フレーズを募集。統合準備会だより及び、応募用紙はホームページにも掲載。児童、保護者、教職員、光が丘周辺地域の方より705種類の言葉・フレーズが応募された。
- ・ 作詞・作曲とも専門家に依頼。応募された言葉・フレーズ、新校への思い、両校の校歌を資料として作詞家・作曲家に渡す。

(4) 北区立十条富士見中学校の例

- ・ 作詞・作曲とも最初から専門家に依頼。

#### **委員長**

事務局より説明があったが、意見などがあればお願いしたい。

校章デザインの募集を行った場合、修正などは区や学校で行ってもらえるのか。

#### **事務局**

応募されたものは基本的に手書きのものなので、専門家にデザイン化をしてもらい、形を整えてもらう予定である。

#### **委員**

どのようなものが出てくるかわからないが、子どもたちに“新しい学校へ自分たちが行く”“自分たちがつくる”という意識を持ってほしいので、校名と同様に校章デザインも募集をしたほうがよいと思う。もちろん大人からの募集も含めてということである。

#### **委員**

私も、校章デザインの募集を行ったほうがよいと思う。統合委員会で原案を出すととなると大変である。両校の校章に使用されている「すすしろ」を統合新校の校章に残したいという話もあるが、条件などは特に付けず、「平和の森小学校」という校名でイメージできるものを出してもらえればと思っている。

校歌も統合委員会で作詞や作曲をするのは無理である。校章デザインと同じようなかたちで校歌に入れたいフレーズなどを募集し、それをもとに専門家に制作をお願いするのがよいと思う。

#### **委員長**

校章デザインなどを募集する場合、学校では校名が選ばれた経緯などを子どもたちに説明するのか。

#### **委員**

どうして校名が「平和の森」になったかということは、小学生でも見当がつくと思う。校名が決まった経緯よりも、「平和の森」という校名を聞いて“どのような学校にしていこう”という思いを膨らませ、校章をイメージしたり、校歌に盛り込む言葉を考えたりすることが大切だと思うので、それをいかに引き出すかである。

#### **委員**

私も、校章のデザインや校歌に入れたい言葉を募集したほうがよいと思う。やはり、みんなで作っていくという気持ちが大事である。

制作の方法については、子どもたちや地域の大人の方、場合によっては学校の先生からも応募してもらい、統合委員会で検討したうえで、デザインや作詞・作曲を専門家にお願いするかたちがよいと思う。

#### **委員**

校章のデザインと校歌に入れたい言葉の募集は、同時に行ったほうがイメージしやすいのではないか。

## 委員

私も、募集は同時に行ったほうがよいと考えている。「平和の森」という校名や地域的なことから校章や校歌をイメージすることになるが、併せて行ったほうが一連の流れとしてやりやすいと思う。

## 事務局

校歌については、先程説明させていただいたとおり、統合新校が開校する前に制作するやり方と開校後に制作するやり方があるが、ここまでのご意見では開校前に制作するという話になっているようなので、それを前提とさせていただく。

## 委員長

それでは、校章のデザインや校歌に入れたい言葉を募集したほうがよいという意見が多いようなので、そのように進めてよろしいか。

—— 異議なし ——

## 委員長

次に、募集範囲はどうするか。

## 委員

校名の募集を行ったときと同じように、統合委員会ニュースを配布している範囲でよいのではないか。

## 委員長

卒業生はどうするか。

## 委員

校名募集のときは、地域センターで投票してもらうこととした。

## 委員長

それでは、募集範囲は統合委員会ニュースを配布している範囲ということでよろしいか。

—— 異議なし ——

## 委員

校章デザインの募集を行った後、選定をする際のアンケートを行うか行わないかということについてはどうか。アンケートを行った場合、その数字で決まってしまうケースが多いようであるが。

## 委員

前例の白桜小学校と同じ（アンケートは行わない）でよいのではないか。

## 委員

アンケートはとらなくてよいと思う。

## 委員長

それでは、校章デザインの募集を行った後のアンケートは行わないということでよろしいか。

—— 異議なし ——

## 委員長

本日の協議はここまでとする。

次回の統合委員会では、本日の協議をもとに事務局案を示してもらい、具体的な募集手続きを決めていきたいと思う。

(3) その他

### **委員長**

本日予定していた議事は以上であるが、ほかに何かあればお願いしたい。

### **委員**

以前にもこの統合委員会で話題に出たが、野方小学校・丸山小学校・沼袋小学校の校章や校旗などを残しておくメモリアルルームを設けたいと思っている。その場合、野方小学校と丸山小学校では児童数が増えてそのような部屋がつかれないと思うので、沼袋小学校のどこか一角に設置できないかと考えている。沼袋小学校の跡地を利用する計画もあるので、すぐに決められることではないが、ぜひ教育委員会のほうで検討をしてもらえないかと思っている。

### **委員長**

統合委員会の中で今のような意見があったことを、機会があるときに教育委員会へ伝えたいと思う。

ほかに何かあればお願いしたい。なければ、これをもって議事を終了する。

### **委員長**

最後に、次回の開催日程を調整したい。

—— 日程調整 ——

### **委員長**

次回は、3月10日（水）午後6時30分より、沼袋小学校で開催することとする。

本日の統合委員会は、これをもって閉会する。